

	<p>置する。皆と協力しながら製作できる。</p> <p>[家族の趣味の継続]</p> <p>[セルフケアができない]</p>	<p>ADL・作業のサポートの見極め</p> <p>爪をきる。</p> <p>セルフケアサポート</p>		
12/18	<p>製作中一緒に夫と過ごし本人を手伝うが、以前のような作品に対する批判的な言葉は夫からはみられない。上着を裏表に着ている。</p> <p>[家族の変化-容認]</p>		<p>夫に手伝ってもらい、本人への対応を見る。</p> <p>本人へのサポートの機会を提供する</p>	
X+1年 1/15	<p>夫と来所。空間失認または注意障害か、指を指したところをすぐに確認できない。お茶の注ぎ口とコップの淵の位置がつかめず、お茶が注げない。コップを持っていくと注げる。正月に旅行へ行ったことを覚えている。</p>	<p>本人の認知障害に合わせたサポート</p> <p>自分の意見が言えるように夫に離れてもらう</p> <p>気持ちを話せる場を作る</p>	<p>製作中は本人と離れて過ごすことを勧める</p> <p>本人と離れる場を作る</p>	
4月頃	<p>支援計画見直しのための聞き取りを行う。</p> <p>今まで好き放題やってきたからいい。夫に迷惑をかけたくない(本人)。</p> <p>本人ができることをさせ、進行をできるだけ止めたい(夫)。</p> <p>介護保険申請し、施設などを利用することに対しては夫がネガティブなイメージを持っている(あんなところに行くこと寝たきりになってしまうとのこと)</p> <p>移動支援のガイドヘルパーは利用継続中。</p> <p>[介護保険サービスへのネガティブなイメージ]</p>	<p>AW参加の目的の再確認</p> <p>歩く会の参加を勧める</p> <p>(7月~11月)</p> <p>AW参加の目的確認</p> <p>AW以外の他の活動も提案する</p>	<p>AW参加の目的の再確認</p> <p>歩く会の参加を勧める</p> <p>(7月~11月)</p> <p>AW参加の目的確認</p> <p>AW以外の他の活動も提案する</p>	

4/16	<p>他者の不快なジェスチャーに対して、気分を害された様子。</p> <p>日常繰り返されていることはよく記憶している。</p> <p>休職中のスタッフのことも覚えていてる。</p>			
4/30	<p>新規ガイドヘルパーと来所。</p>			<p>サポートの方法を見極めて作業の手伝いをお願いする。</p>
5/7	<p>青を中心に使用し描かれる、ヘルパーにトイレを教えようとされる。また、自ら「トイレに行こうか」と言われる場面もみられる。後片付けも手伝うことができる。夫とけんかをしたと常に怒った様子を見せる。クッキーが前歯で噛みにくい。</p>	<p>本人の感情表現を伸び伸びとしてもらう</p>		<p>作業の手伝いやトイレの介助を依頼する。</p>
6/4	<p>叔母が亡くなったとのこと。疲れた様子で到着する。じゃがいもを抵抗無く手で食べることができる。新規参加者に自分も初めはすごく嫌だったと話す。パレット上に色を塗り広げてしまう。できないことを不安に思っ て人に頼ることができる。</p>	<p>以前手で食べられなかったことをあきらめず、実施しガードをとる。</p> <p>のびのびできるように。否定しない。</p>		
6/18	<p>到着時間がいつもより遅い。理由不明。白い絵の具とパレットとの区別がつかない。白が出ていないのに出ていると言う。作品に落款印を押すのを拒否。</p>	<p>本人の好きなようにしてもらう。</p> <p>空間失認によりできないことを補う。</p>		
7/2	<p>今までとは別のガイドヘルパーと来所。スイカが甘かったことを最後まで覚えている。</p> <p>パレットを2枚用意すると良好に遂行できる。</p>	<p>本人が空間認識できるように工夫する。</p> <p>空間失認のサポー</p>		<p>別のガイドのサポート状況に合わせてアドバイス</p>

	筆も色が異なるため2本用意する.	ト		
7/16	夫と来所. 夫はサポートをしないといけないと思い, 隣に座ろうとされる. 夫には別の仕事を願う. 歩く会で最近「忘れていたら教えてね」と言うことがあり, 夫と一緒にいる時よりも本人が自立していると感じると夫が言う. 絵の具を選ぶ時など見えづらくなってきているのではないかと感じる場面がある. 「忘れた」と言えるようになる. [物忘れを口にすることができる]	本人状態の変化の観察 (絵の具の選択場面, 「忘れた」と言えること)	違う作業をお願いし, 本人の作業に直接関わらないようにする. 本人の状態への感想を聞く. 言葉にしよう.	
8/6	夫と来所. 途中, 別席で作業する夫の様子を見に行く. 黒キャンパスに描くが一筆目なかなか手が出ない.	気長に待つ		
8/20	ガイドヘルパーがサポートに慣れすぎてしまい, 次々と提示してしまう. 絵を描く際の持続の仕方として, 「もういいですか」と聞くと『もう辞める』と言われるので, 「もう少し描きましょうか」と問う. 赤ちゃんのいるスタッフの顔を見て, 「赤ちゃんいるの」と赤ちゃんを見ていないのに問う. 今日新しい参加者が居るせいか, 夫が不在なせいか, 少し元気がない. 人も少なかったことも影響していると思われる. AWへの参加について, 新規の人に「私もはじめは嫌だった」			ガイドヘルパーに対してサポート方法の再確認

	と過去形で話す。パレットに描く、道具の使用の判別ができない。沢山お茶を飲み、お菓子も食べる。			
9/3	ガイドヘルパーは最初、手伝おうとされるが、司会がサポートをする場面を見て、サポートを減らし本人にしてもらう。できた作品について「私がこんなするなんて」と答える。他参加者から「うれしい」という感想をもらい、「ありがとうございます」と返答。本人の作品に対して皆で拍手をしていると自分でも拍手をし、その自分に気づき「あ、私自分に拍手している」と言う。少し前のことを覚えていることがある。			ガイドヘルパーにサポートのポイントを伝える。
9/16	家族会の時の自己紹介で「家内は今日声が出ないので」と夫が自己紹介をする。喧嘩をしていたのか？今日は問題なくよく喋られる。			
10/15	用事で休み。			
11/5	1か月ぶりに参加。変化なく、調子もよさそう。 手袋をはめて気温も高く、顔が赤くなっているが暑いとはいわない。上着を脱ぐよう勧めたら「暑くない」と言いつつ脱ぎ、脱いだ後に「すっきりした」という。暑さが感じられないのか？ 色づかいが明るくなる	衣服の調整		
11/19	欠席			

12/3	他者の絵を気にして、見せて欲しいと関心を持つ。参加者が一人いないことに「いつものあの人がいない」と言う。帰りに自分の服が分からない。イスに座る、水道の位置がわかるなどサポートしなくてもできることが増える。			
12/17	夫と来所。来たときから機嫌よくうれしそう。絵の具の色をカードにして示すと選びやすい。微妙な青の違いを認識し、選ぶことができる。赤を一番初めに選ぶ。抵抗がなく塗ることができる。	本人が空間認識できるように工夫する。パレットの工夫、色が分かりやすいようにカードで示す。		
X+2年 1/7	夫と来る。パーマを当てて毛皮のコートを着てくる。 スタンプの作業、ガイドでは理解に沿って進められない。本日は夫が途中からいなくなったせい、依存することはなかった。	進行上忘れてしまうときには補足説明する。 記憶力のサポート		ガイドヘルパーにサポートのポイントを伝える。
1/21	目がかなり見えにくいのか、認知機能の問題か、以前よりも大きく紙からはみ出して塗ることもあり。糸をつまむ際に指をつまんでいても分かっていない様子。ドライヤーのコードをしきりと気にして順に触っていく。何か分からなかった様子。最近はお菓子やお茶をよく食べられるようになった。家でもよく食べ、すぐに何か食べるものない？と言うとのこと。おなかが張っていると言う。 楽しかったですか？と問うと「いつもと一緒に」と言うが、やっ	作業状況より空間認識の確認をする。 本人の気持ちを確認する。	夫にも最近の状況を聞く。	

	<p>ている際は「楽しい」と言う。</p>			
3/6	<p>本人ネットワーク支援委員会の報告会に参加 公的な場での発言</p>	<p>本人の気持ちを発表する場を提供</p>		
4/8	<p>夫が付き添い 2 ヶ月ぶりの参加。新しい事務所へ移転。新しいメンバーの参加。場所が違うことについては、少したってから「ここは新しい場所よね」という。入り口で(階段がないことに対して)これが楽でよいと言う。自分の名前は分かるが、夫の名前を今日は言わない。 指に直接、色をつけて描くことは嫌がらない。 鑑賞会で、感想を聞かれると「相変わらず私なんで同じことばかりしているのかなあ」と言う。最初から考えようとするのを諦めているのか「わからない」と言う頻度が多くなる。 [2 ヶ月ぶりの参加、「わからない」が多い]</p>	<p>どの程度の理解ができているのか確認 これから何が理解できていて、何が分からないのかを 着目してみていく こととする 「わからない」と言うことへの確認が必要</p>		
4/22	<p>考えずに「分らない」と言う。冗談というよりも本当に分っていない様子。夫のことをあまり気にせず、話題にもしない。「絵をファイルに入れましょうか」と言うと「私分らないからこの人に言って」とすぐに言われる</p>	<p>「わからない」と言うことへの意味の確認</p>		

	<p>よくなる。周りに任せて遂行することでできるという感じが得られているのか？食べ残したお菓子をくるくると巻いて持ち帰られる。いつもと違う運動靴であったためか何をはいてきたのかが分らなかった。</p>			
5/6	<p>TV 取材のためスタッフが同行。特に嫌がる様子もなく、馴染んで話をしている。</p> <p>ガイドヘルパーO氏と来所。夫と喧嘩して出てきた様子。</p> <p>名前を聞かれて「名前？分らないわ」といった後に、フルネームでヒントなしに言える。冗談なのか、本当に最初は分らないのかが分からない。</p> <p>しっかりしたダイナミックな作品が完成する。「だんなに意地悪した」と話す。</p> <p>感想「私には似合わないこういうの」と言うが、他参加者がほめるとうれしそうにされる。</p> <p>他者の作品の色は「良い」とほめる。「こういうの好き」と感想を述べる。</p>	<p>自分の気持ちを述べてもらう</p>	<p>本人の状況を社会にも発表してもらうように場を提案する</p> <p>他の家族と作業を一緒にしてもらい、家でのごし方など情報交換できるようにした。</p> <p>本人、家族の状況、3年弱のAWの取り組みを発表する機会を作る</p> <p>他の家族との交流</p> <p>家族がAW同行する意味</p>	
5/20	<p>取材が続いている。AW開始前、夫、本人を交えてケアプランの面談を実施。本人の気持ちを聞き取る。</p> <p><本人>AWに来るのは夫が自分から離れたかと思っているから、見捨てられるようで寂しい。家にいるのも好き。友達ができそうになってはすぐになくなってしまふ。以前のような友達</p>	<p>本人の気持ちの聞き取り</p> <p>AW、歩く会の目的を再確認</p> <p>ケアプランの目的を説明</p>	<p>夫の気持ちの聞き取り</p> <p>AW、歩く会の目的を再確認</p> <p>ケアプランの目的を説明</p> <p>歩く会でも夫が他の家族と交流できるようにする。</p>	

	<p>が欲しい。</p> <p><夫>自分の都合で12年前に転居してきたので地域に友人が少ない。AWや歩く会が他者とのコミュニケーションの場になり、進行防止に役立っていると思う。活動を続けさせたいが、本人は何をしにいくかわからなくなり、ガイドヘルパー送迎のときは「あんた私を見捨てるんやろ。一人になりたいんやろ」と訴え前の日からの説得が大変。デイサービス利用には抵抗がある。</p>			
6/3	<p>AWでの取材は最終。自宅から一緒に来る。</p>			
6/16	<p>自宅にて取材担当者主催による食事会を行う。夫、本人の気持ちを伺う。</p> <p>夫：自分に何かあったとき本人が暮らしていける環境を整えること（有料老人ホームなどに入れる貯えや、いい施設を探すことなど）を義務だと思っている。</p> <p>本人：私が先に逝く、もしくは一緒に。それ以外は絶対だめ！</p> <p>家族が介護保険利用を検討する。</p>	<p>自宅でリラックスして話せる場にスタッフが参加</p> <p>本人に気持ちを話してもらう。</p> <p>将来の思いも聴く。</p>	<p>自宅でリラックスして話せる場にスタッフが参加</p> <p>夫に今までの経過を振り返り、気持ちを話してもらう。</p> <p>将来の思いも聴く。</p>	

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
該当書籍なし							

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
該当論文なし					

